



教育目標「学ぶ吉中 鍛える吉中 心の吉中」

吉田中学校だより

令和7年11月14日発行第20号

Tel. 0256-93-3235

吉田中 HP「学校日記」

「校長 vision」お見逃しなく!!



花は咲く

校 長 武井 正明

去年の音楽祭で1年4組が歌った曲。東日本大震災の復興曲として馴染み深い曲だ。
歌詞に難解なものはなく、メロディーも緩やかで歌いやすい。

だからこそ、歌い手の表現力や感性が如実に露見する難しい曲であると、私は思う。

そういう意味で、練習での4組の様子を見ると、まだこの子たちはこの曲を歌い切る成長段階に来ていないな、担任の野俣教諭も指導に随分苦慮されているな、と私の眼には映った。しかし、その懸念は見事に裏切られる。

音楽祭当日、私は感動で震えていたのだ。

♪ 花は 花は 花は咲く いつか生まれる君に

花は 花は 花は咲く いつか恋する君のために…

彼らは見事に歌いこなしていた。4組生徒が、最後のフレーズを歌い切った時、私は涙が止まらなくなった。眼を見開き、口を大きく開けて、伸びやかに、素直に、無心に歌うことが、ここまで聴き手の心を打つものなのか…。いつのまにか彼らは、確実に成長していたのだ。歌詞が、私の琴線に触れた。

そして今年も、待望の合唱シーズンがやってきた。またあの歌声が、17曲も聴ける。

人前で歌うことが恥ずかしい…多感な中学時代なら当然かもしれない。だが、自分達の歌で、聴き手に感動の涙を流させることの快感を知ったあなたは、恥ずかしさなど超えてしまうのである。それはあなたが既に、大人の階段を上がっている、ということだ。

去年の音楽祭では、泣かされっ放しだった。我慢しても無理だから今年は観念して、練習の段階から泣くのを我慢するのは、もうやめた。

昼休みや放課後、校内が歌声でいっぱいになる…心が満たされていく。幸せな気持ちでいっぱいになる。その時間も、とうとう明日で終わってしまう。

若き君たちの、ありったけの感受性や表現力で、吉中体育館を感動の渦にしたい。
その瞬間はもう、すぐそこまで来ている。

10/12(日) 新人戦順位決定戦(見附中)



10/16(木) 道徳研究発表会(授業 3-6 大山教諭)



10/27～音楽祭学級練習



11/3 全国野球大会(静岡)
最優秀選手(学年朝会で祝福)



♪校内が歌声で溢れかえる
素晴らしい時間でした…



令和7年度 11 月下旬～12 月の主な行事

17(月) 音楽祭代休日

18(火)～28(金) 教育相談週間

1 (月) 冬時程開始

3 (水) 立会演説会リハ(放課後)

5(金) 真和会役員選挙演説会・投票日

9(火)～11(木) 冬季保護者会

12(金) 真和祭(作品展含む)

24(水) 2 学期終業式